



## 第2回戦略会議レポート 2017/7/3 湯沢町役場



いよいよ最終年度となり補助が終了するので観光圏としてどのように迎えるか。7月6日の総会で事業報告を行う。取り組みをご理解いただきながら関連に議論をすすめていきたい。と井口代表。

### 清水先生より 国と観光庁の動きについて

- ①観光圏を続けるのであれば、観光圏推進協議会から整備計画を提出する。成果が出ている観光圏はブランド観光地域として認定するかどうか検討。
- ②全国観光圏共通事業を支援していく。
  - ・サクラクオリティ(品質保証)
- ③Undiscovered Japan
  - ・9月ツーリズムエキスポに4ブース出展。
  - ・JNTO・JATA・日本観光振興協会からも支援を頂く。日本航空の全面協力でトップページにリンクする。

### WG トピックス 食文化 Uonuma Kitchen

- 6月24日に魚沼の里ブランドブランにて第1回の料理イベントを開催。デモンストレーション型料理教室で20名定員の会場に50名の大盛況、好評であった。現在次回イベントの募集中。食育に興味のある教育機関なども含めて積極的にPRをお願いします。
- 次回は、7月21日 築地御厨(みくりや)内田氏。

Uonuma  
Kitchen

「魚沼 食の学校」始まります。



### 雪国観光圏の理念

#### 『100年後も雪国であるために』

ひとつずつでは埋もれてしまう地域資源を発掘し、つなぎ合わせ、磨き上げることで世界に通用する価値を生み出す。

#### 雪国観光圏のブランドコンセプト

#### 『真白き世界に隠された知恵に出会う』

### 各WG 29年度の動き

#### ■食のブランド化WG

- ・WGを超えてのイベント化。農業者・事業者だけでなく一般市民に向けての観光圏の取り組み周知と雪国素材についての啓蒙活動。第1回の報告と、時期イベントの告知依頼。

#### ■スノーカントリートレイルWG

- ・許認可手続きが9月までに間に合わずオープニングイベントは延期。各市町村から課題の洗い出しを再度お願いしたい。
- ・道標作成は今年度行う。一般道は水色、国立公園内は木目調でデザイン、問合せ先は(一社)雪国観光圏スノーカントリートレイル実行委員会。
- ・オープン是一部でも可能か、すべて整ってからかという検討が必要。※写真:SCT HPより転載。



SNOW COUNTRY TRAIL



#### ■観光協会連携WG

- ・相互販売の情報整理・、窓口案内の標準化・観光圏HPの登録等について確認し、整備していく。
- ・アンケートは観光圏事業ではなく個別予算になるが経年比較ができるのでお願いしたい。

#### ■二次交通検討WG

- ・新メンバー(市町村生活交通担当)が加わった。
- ・グーグルマップへのバス時刻表の情報提供を最優先で行う。そのほかは年度末に提案まで。

## 全国観光圏推進協議会事業

・5月26日に大正大学にて48名参加で行われた。日本版DMO候補法人・観光圏ブランド観光地域について観光庁後藤課長よりお話を頂く。詳細は添付資料をご覧ください。  
観光圏を続けるのであれば、新たな観光圏整備実施計画を出す必要がある。

## 品質認証サクラクオリティ

・今年より実施体制を強化していく。この事業の核は、宿泊施設が自らの意識で品質認証を受けるのが大切。自分たちの提供しているサービスを第三者に見てもらい、安心安全で泊まってもらおうとする施設を観光圏では募集していく。認定方法は約300項目ある評価基準調査項目があるので希望施設に事前送付し記載してもらう。後日調査員研修を受けた調査員が視察し〇×照らし合わせる。評価は5段階で宿泊カテゴリーは旅館・ホテル・民宿の3部門。ポイントは格付けではなく品質認証のため高いからよくて低いからダメなわけではない。ひとつ星の民宿にも参加いただきたいし、里山十帖や仙寿庵のようなバリエーションも必要。



※調査員研修を、6月27・28日(越後湯沢温泉)、7月12・13日(八ヶ岳)にて開催。



## その他連絡事項

- ・近畿日本ツーリスト クラブツーリズムが雪国観光圏のガストロノミーに興味を持ち、商品打ち合わせを行う。H30に新潟県のDCがあり、春の桜・山菜・収穫ベースにという流れになる。
- ・地域おこし協力隊 に(一社)雪国観光圏事務局員として8月から奥田将大さんが着任。次回より戦略会議に出席しますので本人より皆様に挨拶をさせていただきます。
- ・信越県境地域づくり交流会 7月19日(水)10時～18時。  
会場は雪国観光圏内、道の駅クロスTEN(十日町市)。ぜひご参加ください。
- ・新潟県からのおしらせ うまさぎっしり新潟宿泊モニター企画コンペ。  
7月21日までの応募、新潟県内宿泊施設や観光協会、団体などが対象。  
宿泊の5000円、体験の1000円を県が負担するので、雪国の知恵を感じる着地型観光プログラム付宿泊プランを作ってエントリーしてみたいはかがででしょうか。



\*次回戦略会議は、9月4日(月)13時30分～湯沢町役場で開催です。

連絡先：一般社団法人雪国観光圏事務局  
新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢2431-1  
TEL025-785-5353 FAX025-785-6767